

ノイエローヴ  
neurove vol.6

---

資 料

---

▼ 当社壁紙を施工される場合には、以下の点にご注意ください。

## 選択上のご注意

---

### 防火性能と施工について

- 建築基準法には防火上の内装制限に関する規定があり、対象建築物について内装材料に要求される防火性能の基準が定められています。
- 壁紙の防火性能は、壁紙、下地基材、施工方法の組み合わせによって認定されたものです。
- 防火性能が必要な場合は、使用する壁紙の防火性能(認定番号)と条件、施工部位における下地基材や施工方法を事前に確認してください。また、防火仕上げとする場合、下地へのシーラー処理が標準施工となりますのでご注意ください。

### 使用環境について

- 温度、湿度、光などの環境条件が極端な場所での使用は、変色することがあります。

### 施工費について

- 施工難易度の高い製品については、施工費が割高になる場合があります。ご留意の上で製品を選択してください。

### 見本帳と現物の色差について

- ロット違いにより、見本帳の製品サンプルと実際の製品の色・柄・風合いなどが異なって見える場合があります。予めご了承ください。

### ジョイント部について

- 織物壁紙や和紙壁紙は特性上ジョイントが目立ちやすい製品です。詳しくは各製品の「留意点」をご確認ください。

### 柄合わせ製品について

- 柄合わせの必要な製品は無地よりも要尺が多くなりますのでご注意ください。

### 製品の改良・価格について

- 製品の品質改良その他経済事情の変動などにより、予告なく仕様や価格を変更する場合があります。予めご了承ください。

### 見本帳の写真について

- 印刷の都合上、見本帳掲載のイメージ写真と実際の製品が異なって見える場合があります。

## 取扱上のご注意

---

### 製品が届いたら

- 製品受領時に欠損などの有無を確認してください。また、ご注文いただいた製品と現物が一致していることを確認してください。万一欠損がある、またはご注文品と現物が異なっていた場合は、購入先にご連絡ください。

### 荷扱いについて

- ロール状に巻かれた壁紙は数量次第で重量物として取り扱う必要があります。
- 身体に過度な負担をかけるような無理な運搬はしないでください。また、危険ですので製品をトラックの荷台など高所から落下させないでください。ケガや製品の破損を引き起こします。

### 保管について

- 製品はヨコ積み、井桁積みをせず、タテ置きにして圧迫など強い負荷をかけないでください。濡れや置き跡などが残る場合があります。製品は火気、高温、水、湿気、直射日光などを避けて保管してください。

## 壁紙施工上のご注意

### 1. 施工の前に

- 施工部位と製品の品番、ロット、数量を確認してください。

### 2. 副資材について

- 副資材(パテ、シーラー、施工等)は、必ず壁紙専用のものを使用し、用途や用法は各副資材メーカーの指示に従ってください。専用品以外のものを使用すると、目隙やフクレを発生させることがあります。

### 3. 下地処理について

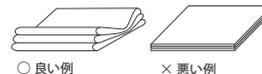
- 施工後の不陸を防ぐ為、下地は平滑に仕上げてください。
- 壁紙だけで下地の不陸を目立たなくすることは出来ません。  
特にデザインがフラットな製品は入念に下地処理を行ってください。
- ネジ、クギ類は施工後の変色を避ける為、突起を完全に沈めてサビ止めをしてください。
- 下地にインク等による記入や窓枠の塗料などが付着しているときは、取り除いてから施工してください。
- ペンキ、コンクリート、モルタル、合板下地、金属下地等アクやサビの発生しやすい下地は、それぞれ専用のシーラー、防錆剤で下地処理をしてください。
- シーラー処理は接着不良や壁紙の変色を防ぎます。
- 施工後に下地の色が透けて見えることを防ぐ為、下地と同色のパテを使用してください。
- パテ、シーラーを施した場所は十分に乾燥してから施工を始めてください。  
未乾燥での施工は壁紙の変色やカビの発生を招くことがあります。
- パテ部分にサンドペーパーをかけた後は必ず布やスポンジ等で粉を拭き取ってください。  
粉が下地に残っていると接着力が落ちる原因となります。

### 4. 糊付けについて

- 施工糊は「F☆☆☆☆」表示のある壁紙施工用でん粉系接着剤(エチレン酢ビ系接着剤入り)をご使用ください。
- 本製品の施工には、工場調合品(原液タイプ)の施工糊の使用をおすすめします。
- 希釈タイプの施工糊を使用する場合は、糊メーカーの指定割合を守ってください。
- 糊付け機の回転スピードを遅く設定して、しっかりと均一に塗布してください。
- 塗布量は140~160g/m<sup>2</sup>を目安とし、施工当日の温度、湿度、壁紙の性質に合わせて調整してください。  
塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因になります。  
※壁紙の表面に糊が付かないようにご注意ください。テカリや変色の原因になります。
- 冬場などの気温が低い環境では、糊の接着強度が著しく低下します。  
ジョイントの目隙や、折りジワの原因になります。ストーブ等を使って施工場所の室内温度を上げてください。

#### 〈糊付け後の注意点〉

- 糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きをしないでください。



#### 〈オープンタイムについて〉

- 適切なオープンタイムを取って壁紙が柔らかくなってから施工してください。  
オープンタイムが短い場合は、後伸びが発生してシワの原因になります。一方で長すぎるとアイハギの原因になります。
- オープンタイムは製品ごとに異なります。  
施工要領書のオープンタイムの目安時間を参考に施工当日の温度、湿度に合わせて調整してください。

## 5. 張り付けについて

- 柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。  
硬い刷毛は表面をキズつけるおそれがあります。
- 同一面でジョイントする際は、色差を避ける為、同一ロット製品を糊付けした順に張り合わせてください。
- 張り付け後、接着面に空気や余分な糊が残らないよう丁寧に密着させてください。  
撫で付け(エア抜き)はタテ方向を基本に行ってください。  
ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になる為、控えてください。
- 天井面と壁面クロスの突き付け施工には、壁面クロスの水平方向(巾方向)にガードテープを必ず使用し、天井クロスに糊を付着させないでください。

## 6. ジョイントについて

- カッターは薄刃のものをおすすめします。壁紙の切り口がささくれないように、小まめに刃を替えてください。
- 壁紙は有効幅でご使用ください。有効幅を超えた使用は、色違いの原因になります。
- 壁紙は天地方向を合わせ、有効幅の端部どうしでジョイントしてください。  
それ以外でジョイントすると、色差やツヤ差が生じる場合がありますのでご注意ください。
- 入隅での押し込みは製品をキズつけないように丁寧に行ってください。
- 出隅をおさめる際は表面をキズつけたり毛羽立たせないようにご注意ください。
- 石膏ボード下地で重ね切りを行う場合は、石膏ボードの原紙まで切り込まないようにしてください。  
目隙やボード割れの原因となります。下地を切らないように下敷きテープを入れてカットすることをおすすめします。
- カットする際は地べらを使わず、定規をご使用ください。切り口がななめになると目隙しやすくなります。
- ジョイント部は、突きつける感じで撫でるようにおさめ、あまり強くローラーで押さえないでください。  
その際、必ずソフトローラーをご使用ください。
- ジョイント部からの糊のはみ出しにご注意ください。
- 壁紙の表面に糊が付かないようにご注意ください。  
糊の付着を放置するとテカりが生じたり、後日変色してくることがあります。

## 7. 糊の拭き取り

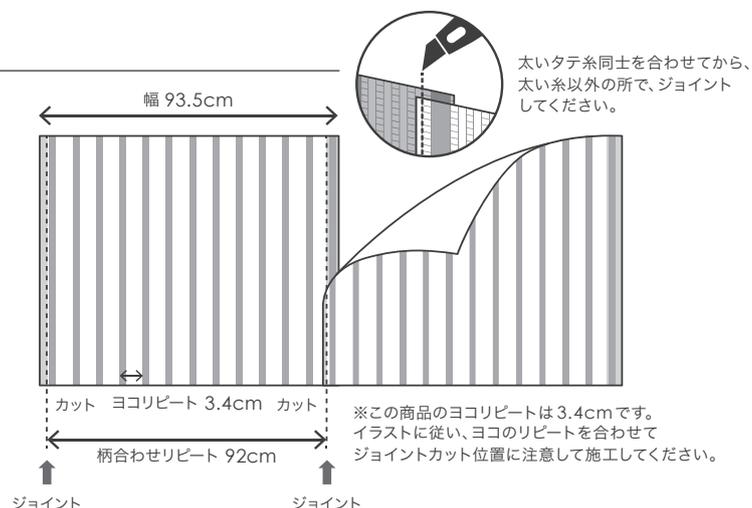
- 表面に付着した糊は、清水で絞った布で軽く叩くように拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。  
その際柔らかい布を使用し、強くこすらないでください。表面がキズつき、色や光沢が変わることがあります。
- 枠、巾木などに付着した糊を拭くときは、地べらなどを使い必ずクロスをガードしてください。

## 8. 柄合わせについて

- 下記品番は柄合わせが必要です。  
割付けイメージを確認の上、  
注意して施工してください。

### 藤 NR-9071~9074

規格：有効幅92cm×50m 乱  
リピート：タテ ーcm ヨコ3.4cm  
材料区分：繊維系壁紙



---

## 9. 施工後について

---

- 施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、出来るだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。
- 冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。
- 臭いが残った場合は、臭いを軽減する為に、十分に換気を行ってください。

---

## 10. 三巾程度の施工で状態確認

---

- 三巾くらい張り付けた後、必ず左右の色差など、不具合の有無を確認した上で作業を進行してください。
- 製品に欠陥が見られた場合は、施工を中断し、購入先までご連絡をお願いします。
- 三巾以上の施工後は、クレームをお受け出来ない場合があります。あらかじめご了承ください。

---

## 11. その他

---

### 〈リフォーム張り替え時について〉

- 下地に壁紙の裏紙が残っている場合は完全にはがしてから施工してください。

### 〈濃色壁紙の注意点〉

- 濃色壁紙に付いた糊や汚れを拭き取る際は丁寧に行ってください。  
糊などの拭き残しがあると、しばらくして白く目立つことがあります。  
拭き取りの際は、壁紙表面の破損や色落ちにご注意ください。

### 〈粘着テープ〉

- 粘着テープ(セロハンテープ、ガムテープ、マスキングテープ等)を壁紙に付着させないでください。  
テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。  
また粘着テープをはがす時に壁紙を破損することがあります。

## 維持管理上のご注意

---

### 1. 入居後の換気

---

- 入居後、室内に施工時の臭いが残っている場合がありますので、一週間程度は換気を十分に行ってください。

### 2. 直射日光、暖房器具からの保護

---

- 直射日光や熱風が長時間当たる場所では、変色するおそれがあります。カーテンやブラインド等での日除けを心掛けてください。またストーブ等の暖房器具の熱風は直接壁紙に当たらないようにしてください。変形変色、目隙やはがれの原因となります。

### 3. 粘着テープを貼らない

---

- 粘着テープ(セロハンテープ、ガムテープ、マスキングテープ等)を壁紙に付着させないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また粘着テープをはがす時に壁紙を破損することがあります。

### 4. 汚れが付着したら

---

- 製品の素材や製法の特性上、付着した汚れを完全に除去することは困難です。汚れを付着させないことが重要です。
- 汚れが付着した場合は、以下の方法をためしてください。ただちに清掃を行うことで、汚れを軽減することが出来ます。

#### 〈飲料水や調味料〉

- 清水を含ませた布等をしっかりと絞り、軽く叩くようにして拭き取ってください。  
注) ・清水以外ご使用にならないでください。
  - ごしごし擦ると壁紙が破損する場合があります。  
無理に落とさず、丁寧に軽く叩くようにして汚れを軽減させてください。
  - 研磨剤の入っているスポンジのご使用はお控えください。

#### 〈手垢等について〉

- 軽い汚れはネリ消しゴム等で叩くように落としてください。

#### 〈ほこりについて〉

- 定期的にハタキで取り除くようにすると、きれいに保つことが出来ます。  
長時間にわたって付着したほこりは、湿気を吸って頑固な汚れとなり、落ちにくくなります。

### 5. 湿気を避ける

---

- カビ発生の原因となる結露や湿気を防ぐ為、室内の換気や湿度調整を心掛けてください。

### 6. 壁紙がはがれてきたら

---

- 温度や湿度の影響を受け、経時的に部分的なはがれが生じる場合があります。
- 早めに壁紙用接着剤(工作用のでん粉糊に木工用ボンド(1~2割)を混ぜたもので代用出来ます)を壁紙裏面に塗り、補修してください。その際、表面に糊が着かないようにご注意ください。

### 7. タバコの煙、厨房の油煙について

---

- タバコの煙や厨房からの油煙は、壁紙を短時間で黄変させ頑固な汚れとなります。強制換気を心掛けてください。

---

## 8. 油性マーカー等を付着させない

---

- 油性マーカーや水性ペン、クレヨンなどは、落とすことが出来ませんので付着させないでください。

---

## 9. 薬品や化粧品類を付着させない

---

- 殺虫剤、塗料スプレー、化粧品等を壁紙に付着させないでください。壁紙が変色することがあります。

---

## 10. 家具と壁紙との間は空間を保つ

---

- 家具を壁紙に密着させると、家具の塗料に含まれる色素などにより、壁紙が変色することがあります。

---

## 11. キズを付けない

---

- 壁紙表面の破損は補修が困難です。日常生活において家具や硬くて鋭利なものを当てないようにご注意ください。

---

## 12. ジョイント部の注意について

---

- 「めくれ」や「糸のほつれ」を防止する為に、ジョイントにもものを当てたり擦らないように心掛けてください。

---

## 壁紙廃棄上のご注意

---

### 残材を焼却しない

- 壁紙の残材や見本帳を燃やすと、刺激性のガスなどが発生する場合がありますので、焼却しないでください。

### 産業廃棄物として処理する場合

- 壁紙の残材や不要になった見本帳の処分については、自治体の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。

### 一般廃棄物として処理する場合

- 少量の残材を一般廃棄物として処分する場合は、市町村条例に従ってください。  
なお、業者の方が工事に伴って排出したものは、産業廃棄物として処理する必要があります。

製造元

## 旭興株式会社

KYOKKO

大阪本社	〒 531-0076	大阪市北区大淀中 1-1-30 梅田スカイビルタワーウエスト16F	TEL 06-6453-5705 FAX 06-6453-5945
東京営業所	〒 103-0004	東京都中央区東日本橋 1-1-5 ビューリック東日本橋ビル 8F	TEL 03-5822-5191 FAX 03-5822-5197

営業所 / 札幌・北関東・横浜

販売元

## 西武株式会社

NISHIBU

大阪本社	〒 531-0076	大阪市北区大淀中 1-1-30 梅田スカイビルタワーウエスト16F	TEL 06-6453-5725 FAX 06-6453-5740
東京営業所	〒 103-0004	東京都中央区東日本橋 1-1-5 ビューリック東日本橋ビル 8F	TEL 03-5822-5195 FAX 03-5822-5197

営業所 / 仙台・北関東・静岡・名古屋・岡山・広島・高松・松山・福岡・大分・鹿児島